

**平成25年度  
宮城県地域医療再生計画補助金事業  
仙台往診クリニックの取り組み**

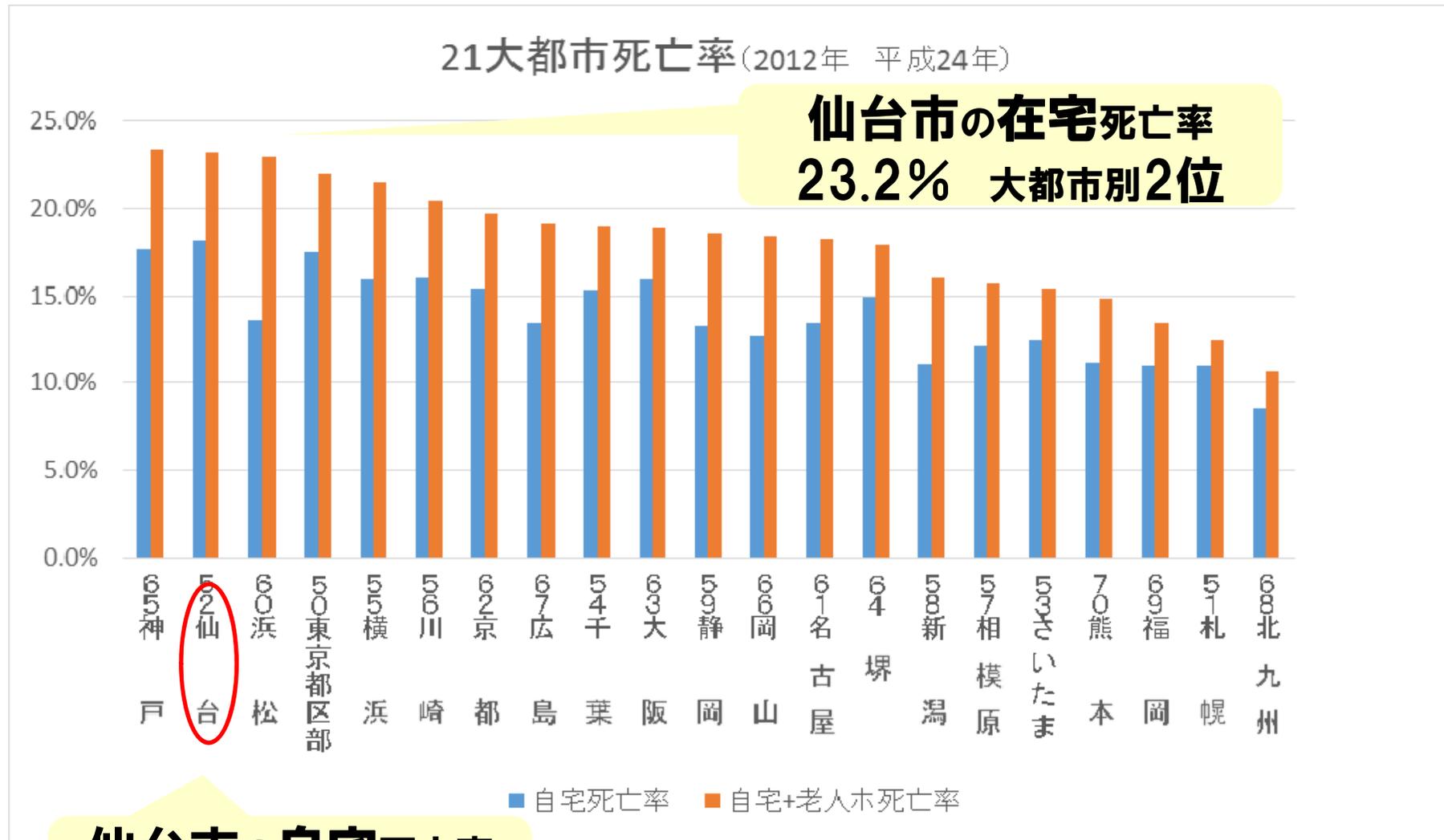
**仙台往診クリニック 研究部**

# 仙台市の概要



- 東北最大の都市
- 総人口※1 104万6千人
- 65歳以上人口※1 19万6千人
- 高齢化率※1 **18.7%**(65歳以上52% 75歳以上48%)
- 在宅(自宅+老人ホーム)死亡率※2 **23.2%**(全国第2位)  
(宮城県平均18.4%)

# 21大都市別在宅死亡率 平成24年



仙台市の在宅死亡率  
23.2% 大都市別2位

仙台市の自宅死亡率  
18.2% 大都市別1位

政府統計e-stat人口動態調査のデータより作成

※在宅 = 自宅 + 老人ホーム

# 仙台市の医療・介護資源

## ◎医療資源

	箇所数		全国平均
病院（精神科含む）	60		
在宅療養支援診療所	60	5.2(人口10万対)	10.1(同左)
訪問看護	60	5.3(人口10万対)	6.8(同左)
訪問リハビリ	3		
薬局(訪問薬剤指導届出)	260		

## ◎介護資源

	箇所数	備 考	
地域包括支援センター	49ヶ所	中学校区に一箇所設置されている	
居宅介護支援事業所	253箇所		
訪問介護	226箇所	たん吸引が行える事業所 128箇所	
訪問入浴	16箇所		
施設サービス	老人保健施設 28	老人福祉施設 41	療養型施設 2

訪問系事業所数は多いように見えるが、人口10万対で見ると平均より低いのが特徴である。病院は、東北各県から患者が受診することもあり、市内中心部に集中している。

# 仙台往診クリニックの概要

## <概要>

### ○施設区分

機能強化型在宅療養支援診療所(24時間365日の診療体制)

訪問診療中心のクリニック 開設18年目

○人員配置 医師 常勤5名 非常勤12名 看護師9名

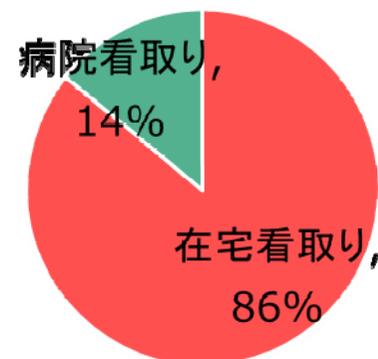
○訪問範囲 仙台市全域及び近隣市町村の一部

## <診療の状況>

患者実数	約550名
訪問件数(月)	約1300件
在宅看取数(年)	126名/147名
在宅看取率(年)	86%

### 在宅(施設含む)看取り率

仙台往診クリニック 平成24年10月～平成25年9月1年  
総死亡数147名



# 仙台市の医療と介護の連携に対するこれまでの取り組み

## 全市レベル

仙台市地域包括支援センター運営協議会  
(介護保険審議会がその役割を担う)

### ◆役割

- ①センターの運営に関すること
- ②センターの職員の確保に関すること
- ③その他地域包括ケアに関すること等

◆実施回数 年に数回

連携

## 各区レベルによる包括ケア会議

＜地域ケア  
全体会議＞

主催：区役所担当課  
役割：関係者間の情報交換や連携の促進  
地域の関係機関と包括とのネットワークの構築など

構成員：医師会、歯科医師会、区民児協、区連合町内会長協議会、区老連、仙台市老施協、宮城県老健協、区社協、GH協議会、包括等

### 担当圏域包括ケア会議

主催：各区内の地域包括支援センター  
内容：社協、民生委員、町内会、ボランティア、行政などの構成員と地域全体の高齢者に関する情報交換、認識共有等を行う。

### 在宅ケア連絡会

地域レベルで、医療・介護・福祉に携わる実務者が集まり、事例検討会などの研修会を開催し、連携を深める取り組み  
(平成11年～市内11ヶ所)  
※構成員は地域で決める。研修会の回数に応じて補助金を交付する仕組み。

仙台市では、平成11年より在宅ケアに携わっている実務者レベルで定期的集まり、在宅療養者に対する医療等の促進のための具体的な方策を検討する場を持っているが、区によってその取り組みは差があるのが現状。

# 平成24年度在宅医療連携拠点事業全体図

仙台市全域  
在宅医療とみんながつながる会  
行政(仙台市)、医師会、病院、支援診療科医師会、薬剤師会  
訪問看護、理学・作業療法士会  
ケアマネ協会、医療社会事業協会 等

在宅医療とみんながつながる会(研修会)

- ・顔の見える関係を構築
- ・多職種連携の課題抽出と解決策検討
- ・その他問題となっている事項に関する検討
- ・災害発生時に備えた対応策の検討

若林区  
行政(若林区役所)  
在宅ケア連絡会  
地域包括支援センター連絡会

※若林区を復興枠のモデル地区として選定

- ・研修会の共同開催

外部有識者  
(助言)

在宅医療連携  
拠点事業 事務局  
仙台往診クリニック内

- ・事業の企画運営、研修会の開催等
- ・包括支援センター訪問
- ・アンケート調査
- ・社会資源マップ作成⇒つながライン
- ・在宅医療普及のためのパンフレット作成



# 仙台往診クリニック 平成25年度の取り組み

# 仙台医療介護連携の会①

市内の医療・介護の団体と協力して事業を推進し、終了後も継続できるものを作り上げていく必要があると考え、各団体に呼びかけて発足した会。

## 構成委員 20名

仙台市医師会3、仙台歯科医師会1、仙台市薬剤師会2、宮城県看護協会1、宮城県訪問看護ステーション連絡協議会1、宮城県ケアマネジャー協会1、仙台市地域包括支援センター連絡協議会1、仙台市老人福祉施設協議会1、宮城県老人保健施設連絡協議会1、宮城県認知症グループホーム協議会1、仙台介護サービスネットワーク1、宮城県病院協会3、学識経験者2

## オブザーバー6名

行政(宮城県(医療・介護)4、仙台市(介護・障害)2



# 仙台医療介護連携の会②

	年月日・場所	内容	グループ討議内容	参加者
第1 回	2013.11.21(木) 19～21時 仙 台サンプラザホテ ル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアにかかる統計・事務局</li> <li>・平成25年度薬物療法提供体制強化事業について</li> </ul>	実現可能な、今後2年間で取り組む課題をしばる	委員20名 オブザー バー6名参加
第2 回	2014.1.21(火) 19～21時 仙 台サンプラザホテ ル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回目のまとめ・事務局</li> <li>・地域医療再生計画について・県医療整備課</li> <li>・地域包括ケア体制構築に向けた取組・県長寿社会政策課</li> <li>・仙台市の認知症施策と医療と介護の連携の取組・仙台市</li> </ul>	これからの私たちに必要な共通認識	委員20名 オブザー バー8名参加
第3 回	2014.3.25(火) 19～21時 仙 台サンプラザホテ ル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1、2回目のまとめ・事務局</li> <li>・「地域」から見た地域包括ケア・CLC代表理事 池田昌弘氏</li> </ul> 	これまでの話し合いと情報提供を受けて、改めて私たちが取り組むべきことについて具体案を決める	委員20名 オブザー バー2名参加

# 在宅医療とみんながつながる会①

平成24年度

顔の見える関係を構築すること。多職種連携における課題抽出と解決策の検討を行うことを目的に実施。参加者は医療介護の職能団体の代表者。



平成25年度

顔の見える関係づくりを目的とした研修会とし、市内を中心に広く呼びかけ、医療介護関係者の自由参加とした。

つながライン登録事業所にも、ネット上だけではない関係づくりを目的に参加を呼びかけた。



毎回 研修 + グループワーク

# 在宅医療とみんながつながる会②

	年月日・場所	内容	グループワーク	参加者
第4回	2013.6.26(水) 18:30~20:30 ホテルメトロポリタン	「つながライン」について・事務局 仙台市の救急搬送の現状と課題・仙台市消防局	緊急時の連携と対応	139名
第5回	2013..9.19(木) 19:00~21:00 ホテルメトロポリタン	「つながライン」について・事務局 「在宅医療への円滑な移行」・国立社会保障・人口問題研究所 川越雅弘氏	円滑な在宅移行に必要な情報	137名



### ケアカフェの目的

- ① 日常のケア・困り事が相談できる場所作り
- ② 顔の見える関係づくり
- ③ 地域のケアの向上

「在宅医療とみんながつながる会」講演資料

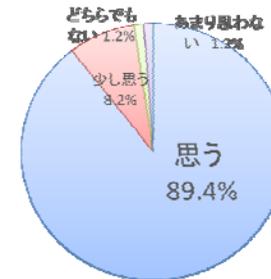
在宅医療への円滑な移行

2013年9月19日  
国立社会保障・人口問題研究所  
川越雅弘

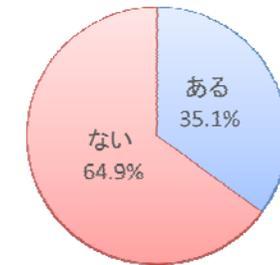


## 第5回目アンケート結果

ティータイムの時間は、多職種の間  
の見える関係作りにも役立つと思いま  
すか (n=85)



過去に「つながる会」を選んでつな  
がった方と、お仕事で連絡を取ったり連携  
した例はありますか？ (n=37)



90%の方が顔の見える関係作りにも役立つと回答。35%の方がつながる会で知り合った方と仕事でも連携したとの回答あり。

# つながりラインの整備・運営

つながりラインとは、地域の医療・介護・福祉の関係者がつながり、連携を深めるために、互いに施設情報を公開しあい、情報交換ができるシステム。

みやぎの医療・介護 資源マップ

**つながりライン**  
在宅医療連携拠点事業

会員制サイトです  
登録・利用料  
**無料**

ログインID

IDを記憶する

パスワード

[パスワードを忘れた場合/変更する場合はこちら](#)

**登録施設数**  
2014.3.31現在  
**392ヶ所**

つながりライン  在宅医療連携拠点事業

contents

- トップ
- 新着情報
- 各拠点から
- 研修情報
- つながりラインとは
- 申込方法
- 資料等
- お問い合わせ



**お問い合わせ先**

事業及びつながりラインについてのお問い合わせ（質問、依頼など）は、お電話もしくは『問い合わせメールフォーム』よりの際に必要事項を明記の上、送信ください。後日、担当者より返答をさせていただきます。

お電話でのお問い合わせの場合（平日 9時～18時）  
**☎ 022-722-3866** 研究部専用

お問い合わせの際は、「研究部 担当者」までお願い致します。



**つながりラインとは**

つながりラインは、地域の医療・介護・福祉に関係する皆様がつながり、連携を深めるために、互いに情報を公開しあい、情報交換することができるシステムです。現在は、医療・介護・福祉に携わる事業所の登録制サイトとなっております。登録・利用料は無料です。ご希望の事業者ご担当者様は、[申し込み方法](#)をご覧ください

在宅医療パンフレット  
**在宅医療のこと**  
ダウンロードはこちら

生きることの集大成を叶える  
在宅医療パンフレット  
一括ダウンロードはこちら

介護職員等による、たんの誤り等  
第三号研修 毎月研修クニック

**会員登録数（本日現在）**

病院	8ヶ所
診療所	18ヶ所
歯科診療所	14ヶ所
薬局	70ヶ所
訪問マッサージ	20ヶ所
訪問看護・訪問リハビリ	17ヶ所
訪問介護	34ヶ所
訪問入浴	3ヶ所
通所サービス	52ヶ所
短期入所施設	12ヶ所
入所施設	30ヶ所
居宅介護支援事業所	38ヶ所
地域包括支援センター	16ヶ所
行政・その他相談機関	3ヶ所

# つながりライン広報活動

年月日	主催・場所	内容	参加者
2013.1.23	宮城県薬剤師会・宮城県民会館	つながりラインについて	県薬剤師会会員 70名程
2013.7.30	宮城県歯科医師会・歯科医師会館	つながりラインについて	県歯科医師会理事 20名
2013.11.26	当院・仙台市シルバーセンター	つながりラインと訪問栄養指導	地域のケアマネ 5名
2013.12.18	当院・エルパーク仙台	つながりラインと訪問栄養指導	地域のケアマネ・介護事業所等 17名

医療・介護情報交換・検索サイト

**つながりライン**

参加事業所募集中!

会員登録・登録・利用料 **無料**

つながりラインのホームページをリニューアルしました！  
仕事に役立つ、たくさんの情報を発信していきます！

最新情報の発信が出来る

情報入力発信機能

連携型検索はOOです

受け取りましたありがとうございます

つながりライン

情報検索機能

スマホ、タブレットでも使えます！

OOの利用者さんのシェア

OOまで閲覧していただける

県内の医療介護事業所に、参加募集チラシの発送

つながりラインと訪問栄養についての研修会のご案内

<研修のご案内>  
いつも大変お世話になっております。  
この度、仙台住診クリニックでは地域の医療と介護の連携を進めるため、研修会を開催いたします。  
今後当院では「つながりライン」のメール送付機能を利用し、ケアマネの皆さまへの文書提供等を検討しておりますので、ぜひともつながりラインにご入会いただきたく、ご案内申し上げます。  
また、8月より開始した「訪問栄養指導」についてご紹介させていただきます。

【日時】平成25年11月26日(火)13:30～15:30  
【場所】仙台市シルバーセンター(青葉区花京院)35階会議室  
【対象】つながりライン入会を待たずの層で介護支援事業の皆さま

【研修内容】  
①つながりラインの便利な機能と使い方について 13:30～14:30  
～つながりラインを使いこなして業務をスピーディに！～  
当日、参加者の存在を踏まえ、つながりラインを体験していただきます。  
仙台住診クリニック 佐々木 みずほ  
②在宅訪問栄養指導の内容と依頼～実施の流れについて 14:30～15:30  
～在宅栄養士が利用者の食生活の悩みにお応えします～  
仙台住診クリニック 遠野 淳子  
※下巻の資料はリンクを  
クリックしてご覧いただけます！

持ち物：研修で使用するパソコンはこちらで準備致しますので、持ち物は特にありません  
参加費用：無料 定員：15名  
お申し込み方法：下記の中込欄に必要事項をご記入の上、Fax:022-722-3877 (仙台住診クリニック研究部) までご連絡いただけますようお願い申し上げます。



# 在宅医療パンフレットの作成

**第1弾**(平成24年度在宅医療連携拠点事業で作成)  
**在宅医療の基礎**

**第2弾**(本年度事業で作成)  
**在宅看取りがテーマ**



一般の方、医療介護従事者への普及啓発用  
県内の医療介護事業所に発送  
仙台往診クリニック、つながりラインホームページからダウンロードが可能

# 在宅医療推進市民フォーラム

平成25年度 第三期 宮城県地域医療再生計画補助金事業

最期まで  
お家で  
暮らしたい

2014年  
3.15(土)

13:00~15:30(受付12:00~)

仙台サンプラザ  
クリスタルルーム  
(仙台市宮城野区権岡5丁目11番1号 3階)

定員 250名  
先着順  
関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。

## 在宅医療推進市民フォーラム in仙台

仙台は全国の中でも、在宅で最期まで暮らしている方の割合が高いのをご存じですか？  
でもどうすればそれは可能な？ 皆さんと一緒に考えたいと思います。

参加費  
無料

### 第1部 基調講演

「おだやかに最期の日まで暮らすために  
～生きることの集大成を叶える在宅医療～」

講師 川島 孝一郎 (仙台往診クリニック院長)  
(厚生労働省「終末期医療に関する意識調査等検討会」委員)

### 第2部 パネルディスカッション

「最期まで望む場所での暮らしを支える体制作り」  
報告者

訪問看護事業所、居宅介護支援事業所、家族介護者

申し込み方法 参加ご希望の方は、①住所 ②氏名 ③ふりがな ④電話番号 ⑤何を以ての応募かを明記の上、  
はがき、FAX、E-mailにて応募ください。(応募締め切り3月10日(月) 当日消印有効)  
※参加申込受付後、ハガキで「参加証」をお送りします。

応募・問い合わせ先 仙台往診クリニック研究部 〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-7  
TEL:022-722-3366 FAX:022-722-3877 E-mail:kenkyu@oushin-sendai.jp

後援：宮城県、仙台市、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県歯科医師会、仙台市歯科医師会、宮城県薬剤師会、宮城県看護協会、宮城県訪問看護ステーション連絡協議会、宮城県ケアマネジャー協会、宮城県理学療法士会、宮城県作業療法士会、宮城県作業療法士会、宮城県歯科歯肉学会、宮城県歯科歯肉学会、宮城県老人保健施設連絡協議会、NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会、仙台市地域包括支援センター連絡協議会、仙台市老人福祉施設協議会、仙台介護サービスネットワーク、宮城県がん総合支援センター、河北新報社

2014.3.15(土) 13:00~15:30  
参加者363名(申し込みは670名程。会場の関係で先着430名まで参加証を発行。)



# 在宅医療講演会



2013.12.18(水) 13:00~15:00  
エルパーク仙台セミナーホール  
参加者87名

## 生きることの集大成を叶える 在宅医療パンフレット講演会

とても参考になります!



- ◎病院医師・看護師の方へ  
⇒ 院内で亡くられる方や御家族への事前レクチャーのため
- ◎施設介護職の方へ  
⇒ 施設で亡くられる方やご家族への事前レクチャーのため
- ◎在宅介護職・訪問医師・訪問看護師の方へ  
⇒ 居宅で亡くられる方や御家族への事前レクチャーのため

積み重ねたところで、おだやかに最期まで暮らしたい。そんな希望を叶えるために知っておきたいことをまとめたパンフレットが完成いたしました。完成を記念しまして、よりパンフレットの内容が理解できるよう、講演会を開催いたします。ぜひこの機会に、ご参加ください。どうぞご案内申し上げます。

講演:「生きることの集大成を叶えるために」  
仙台往診クリニック 院長 川島 孝一郎  
(厚生労働省「終末期医療に関する意識調査等検討会」委員)

日時:平成25年12月18日(水)  
13:00~15:00 (受付12:30~)

対象:医療介護福祉に携わっている方

費用:無料

定員:100名

場所:エルパーク仙台 セミナーホール  
仙台市青葉区一番町4丁目11番1号 仙台三越定禅寺通り館  
電話022-268-8300

### 申込み方法

仙台往診クリニック 研究部宛 裏面のファックス用紙にてお申込ください。締切:平成25年12月18日(金)

### 問合せ先

仙台往診クリニック 研究部

〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-7 TEL:022-722-3866 (平日9~18時)

# 在宅医療出前講座



年月日	主催・場所	内容	参加者
2013.6.14	シニアネット仙台・シニアネット事務所(一番町中央ビル)	在宅医療の基礎知識	シニアネット仙台虹の会 9名
2013.6.26	PPK友の会・仙台市シルバーセンター	在宅医療のこと	PPK(ピンピンコロリ)友の会 35名
2013.8.9	有料老人ホームこすもす園・デイサービスこすもす園	在宅医療のこと	施設スタッフ 7名
2014.2.17	東六コミュニティセンター・花京院地域包括支援センター研修	・医療との連携を図りながら最期の日まで暮らすために ・在宅医療推進事業について	地域のケアマネ、訪問介護事業所 21名
2014.3.27	一万人市民委員会・中央市民センター	在宅医療について	委員 50名程
2014.3.27	シルバー人材センター・八幡コミュニティセンター	在宅医療について	登録の方 20人程

## 講師派遣



年月日	主催・場所	内容	参加者
2013.7～ 10月	宮城県社会福祉協 議会・県介護研修セ ンター	喀痰吸引等1号・2号研修会 指導者養成、介護職養成の講師	指導者80名 程、介護職 140名程
2013.7.6	仙台市介護研修室・ 仙台市シルバーセンター	終末期の医学知識	一般市民 70名程
2013.11.1 6	仙台市介護研修室・ 仙台市シルバーセンター	在宅での看取り 人生の最終段階に ついて考える」	一般市民 300人程
2013.12.3	仙台市介護研修室・ 仙台市シルバーセンター	「喀痰吸引等研修」の概要とこれから の介護	介護職 70名程
2014.2.13	仙台市介護研修室・ 仙台市シルバーセンター	看取りのケアに必要な医学知識	介護職 80名程
2014.2.18	宮城県長寿社会政 策課・宮城県庁	地域包括ケアシステム構築推進研修 会「在宅医療における看取りの実際」	県内包括職 員80名程

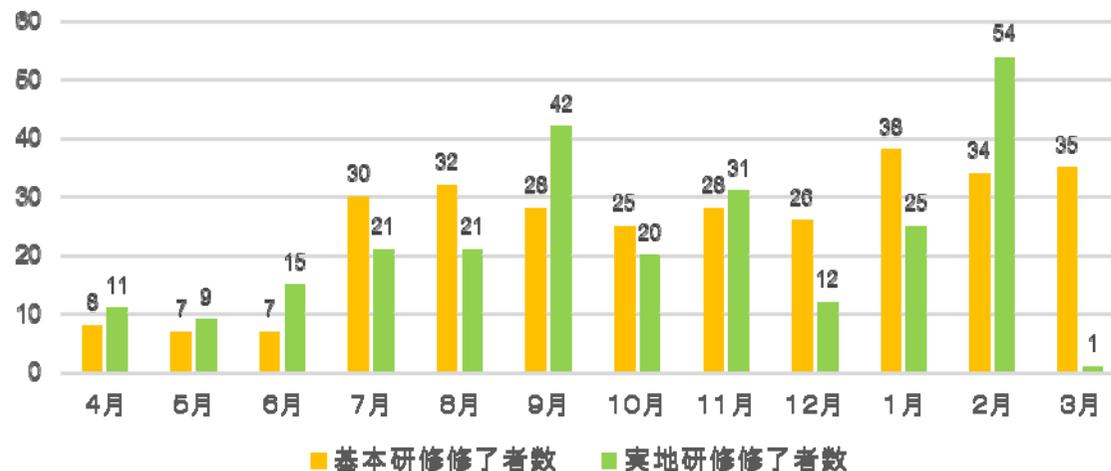
# 研究会・学会発表

年月日	名称・場所	発表内容
2013. 12.7	第2回東北シミュレーション医学教育研究会・東北大学クリニカルスキルラボ	介護職員の喀痰吸引等研修について
2013. 10.27	第6回日本保健医療福祉連携教育学会 学術集会・東北文科学園大学	多施設連携における課題解決の有効な手法
2013. 3.1～ 2	第16回日本在宅医学会ポスター発表・ グランドホテル浜松 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護における多職種連携上の課題アンケート調査結果と「つながりライン」の考案(第一報・第二報)</li> <li>・介護員によるたん吸引等の医療的ケアが制度化されたことにより、在宅医療を支える人材育成は促進されたのか</li> <li>・他当院より4題発表</li> </ul>

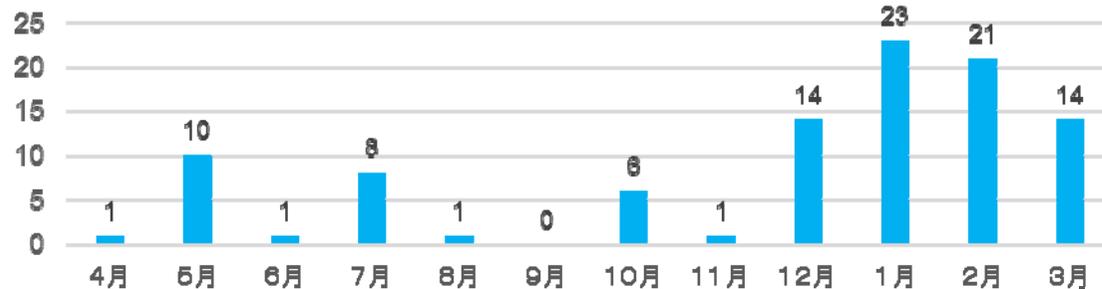
# 介護職員第3号たん吸引等研修



平成25年度 第3号研修修了者数

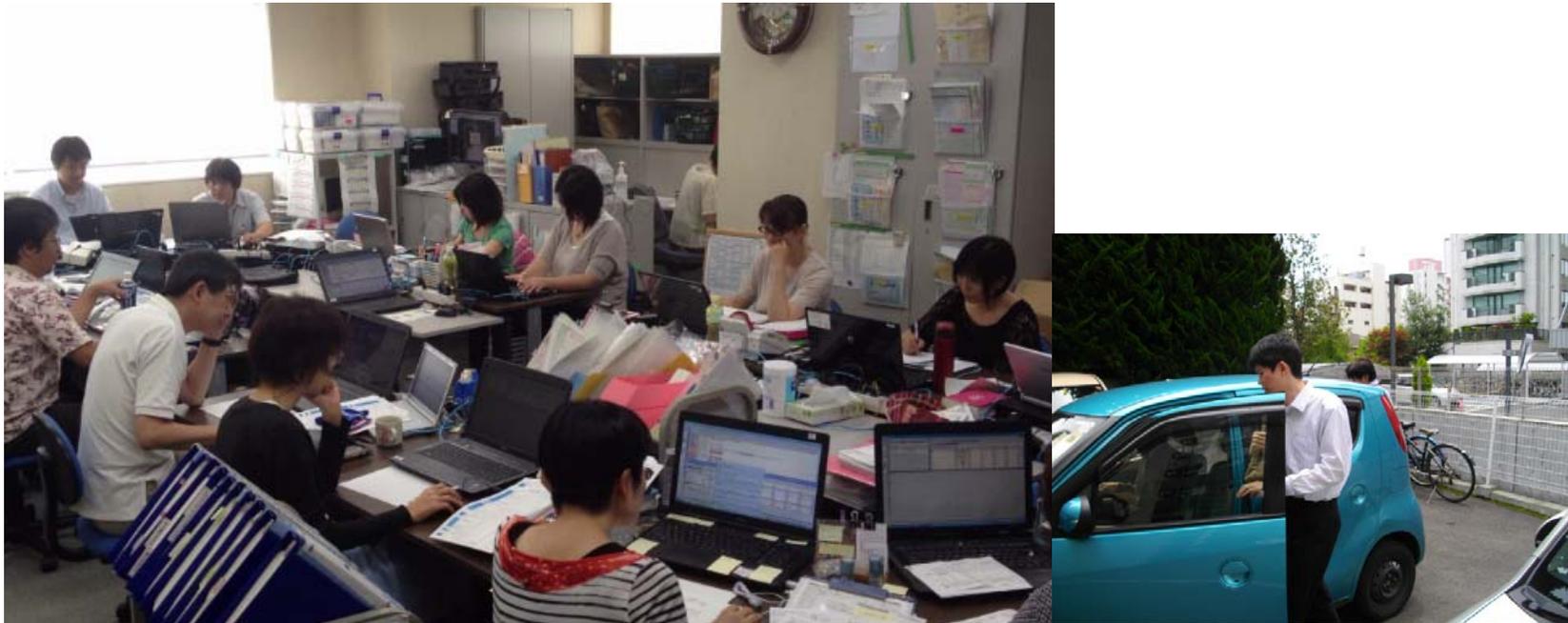


平成25年度 3号指導者取得者



基本研修は毎月実施。講義8時間+シミュレーター演習で1日半で修了。  
 実地研修は訪問看護師へ依頼・または当院スタッフにより随時実施。  
**基本研修修了者298名、実地研修修了者262名、指導者資格取得100名**

# 研修医・学生の在宅医療研修



	受入れ月と人数	受入れ人数 計
研修医	4月1名、5月4名、6月1名、7月4名、9月3名、10月2名、11月2名、12月2名	19名
医学部6年	4月1名、6月1名	2名
看護学生	10月18名	18名